

2003年度総会報告

議長団：島津大宣・藤島みち

2003年度 事業報告

1. 第9回研究大会の開催

2004年3月27日、28日 明治学院大学

・シンポジウムテーマ：

「バレーボールの授業展開を再考する」

「コーチに要求される資質を再考する」

・会長講演，オンコート・レクチャー，ワークショップ，
キーノート・レクチャー

講師：ヨーコ・ゼッターランド氏，藤田 幸光氏

・話題提供者：岩崎 由氏，柏森 康雄氏，小林 宣彦氏，
保坂 広美氏，松永 敏氏，清水 直樹氏，藤田 幸光氏

・研究発表 4件

第2回：2003年7月19日

「ノースイン札幌」会議室

第3回：2003年11月6日

早稲田大学競技スポーツセンター 401号室

第4回：2004年2月7日

山梨県 ホテル「石庭」

第5回：2004年3月27日

明治学院大学白金キャンパス本館10階会議室

第9回総会：2004年3月28日

明治学院大学白金キャンパス

編集委員会 2004年3月28日

明治学院大学白金キャンパス

選挙管理委員会

第1回：2003年11月6日

早稲田大学競技スポーツセンター 401号室

第2回：2004年2月7日

山梨大学

2. 研究集会の開催

第1回：2003年7月20日，北海道浅井学園キャンパス，
参加者34名

テーマ「一貫指導体制について」

3. 機関誌「バレーボール研究」の発行および発行準備

2003年5月1日に5巻1号を発刊

2004年5月6巻1号の発刊にむけて現在準備中

4. 学会会報（ニュースレター）の発行

1回発行，NO10：2003年9月10日

5. バレーボール関係研究文献データベースの整備と運用

（保留）バレーボール学会ホームページ上で公開

6. 研究調査補助 1件

「バレーボール用語の使用に関する調査-各レベルにおける指導者と選手へのアンケート調査-」

工藤健司（堺女子高校），柏森康雄（大阪体育大学）

7. 会員名簿の発行

ニュースレター10号の郵送時に同封配布

8. 諸会議の開催

幹事会

第1回：2003年5月24日

早稲田大学競技スポーツセンター 401号室

9. その他諸事業の実施

・学会ホームページの運用と整備：

<http://www.jsvr.org/>

・役員用メーリングリストの運用

・会員研究用メーリングリストの構築と運用

・学会表彰に関する検討WGの活動

・学会HPに関する検討WGの活動

・第10回記念大会に関する検討WGの設置とその活動



2003年度収支決算中間報告

1. 収入の部

(円)

項 目	金 額		摘 要
	予 算 額	決 算 額	
会 費	720,000	1,290,000	@3,000×430名分 (過年度分を含む)
大会参加費	220,000	22,000	第1回研究集会 参加34名 22,000
広 告 費	200,000	150,000	機関誌広告料1件
繰 越 金	1,560,936	1,560,936	2002年度より繰り越し
雑 収 入	1,000	2	預金利息
合 計	2,701,936	3,022,938	

2. 支出の部

(円)

項 目	金 額		摘 要
	予 算 額	決 算 額	
会 議 費	50,000	10,500	
事 務 費	50,000	42,688	
通 信 費	200,000	170,446	
大 会 費	500,000	349,091	第1回研究集会： 149,091円 第9回研究大会： 20,000円仮払い
印 刷 費	100,000	96,200	ニュースレター・封筒
機関誌発行費	550,000	332,829	「バレーボール研究5巻1号」発行
委員会経費	150,000	100,000	編集：50,000円 企画：50,000円仮払い
調査研究費	200,000	100,000	文献調査 プロジェクト
Web運営費	100,000	100,000	仮払い
予 備 費	100,000	0	
次年度繰越金	701,936	1,721,184	
合 計	2,701,936	3,022,938	

以上御報告申し上げます。

2004年3月27日

バレーボール学会
総務委員会
委員長 遠藤俊郎 印略

証拠書類等を監査の結果、以上の報告に相違ないことを御報告いたします。

2004年3月27日

バレーボール学会
監事 原田 智 印略
高橋 和之 印略

総 会 議 案

1) 2004-2005年度役員に関して

遠藤選挙管理委員長より、バレーボール学会会則、役員選出方法に関する申し合わせ事項に基づき、会長選挙、理事選挙が行われたことが報告され、選挙で選出された、会長、副会長、監事、理事に関して承認された。総会承認後に、休憩をはさみ、理事会を招集。理事長に遠藤俊郎氏が選出され、承認された。

① 2004-2005年度会長選挙

- 告示日：2003年10月2日（木）
- 締切日：2003年10月31日（金）当日消印有効
- 選挙者：2003年9月30日現在、バレーボール学会役員で正会員の資格を満たしている会員（41名）
- 被選挙者：2003年9月30日現在2003年度の年会費を納入済みで2002年度よりのバレーボール学会正会員（239名）
- 候補者の選出：会長候補者、得票上位1名、副会長候補者、得票上位2名を選出。
監事は、会長・副会長の選挙終了後、会長が推薦。

- 開票作業：2003年11月6日 午前11時より早稲田大学競技スポーツセンター401号室にて実施。
- 開票結果：投票者総数31名（投票総数 会長31票、副会長62票）

会 長 枋堀 申二
副会長 川合 武司、矢島 忠明
監 事 原田 智、高橋 和之

② 2004-2005年度理事選挙

- 告示日：2003年11月20日（木）
- 締切日：2004年1月20日（火）当日消印有効
- 選挙者：2003年10月31日現在バレーボール学会正会員の資格を満たしているもの（297名）
- 被選挙者：2003年10月31日現在2003年度の年会費を納入済みで2002年度よりのバレーボール学会正会員（239名）
- 候補者の選出：得票上位より選出し、会長推薦理事とあわせて、定数の25名を選出。
- 開票作業：2004年2月8日午前11時より山梨大学L129号室にて実施。
- 開票結果：投票者総数107名（投票総数535票）

理 事

明石 正和、遠藤 俊郎、亀ヶ谷純一、柏森 康雄、
河合 学、黒川 貞生、後藤 浩史、斎藤 春枝、

篠村 朋樹, 島津 大宣, ○鈴木 陽一, 高橋 宏文,
○田中 博史, 田中 幹保, 藤島 みち, 中西 康己,
成田 明彦, 橋本 吉登, ○廣 紀江, 古沢 久雄,
都澤 凡夫, 森田 昭子, 山本 章雄, ○吉田 清司,
○吉田 美和子 ○印は会長推薦理事

2) 年会費の改訂, 購読会員, 機関誌の頒布に関して

遠藤総務委員長より, 先に報告された中間決算をもとに, 現状の会費では, 学会運営に支障を来すため, 2004年度より, 年会費を5,000円とする案が提案され, 了承された。

また, あらたに会員種別に, 購読会員を加えることが提案され, 了承された。

すでに発行された機関誌は, 該当年度2,000円, 過年度分を1,000円で希望者に頒布することが提案され, 了承された。

決定事項, 会則の改正は以下の通りである。

- 1) 正会員年会費 5,000円 (2004年度より適用)
- 2) 購読会員 3,000円 (2004年度より適用)
機関誌・ニュースレター等, 学会発行の定期刊行物を郵送

3) 機関誌の頒布

- ・該当年度の機関誌 2,000円
- ・過年度の機関誌 1,000円

※会則に, 購読会員を加筆訂正

第3章 会員

第4条 会員の種別は次の通りとする。

1. 正会員: 本会の趣旨に賛同し, 本会会費を毎年度納入している者をいう。
2. 特別会員: 正会員以外の団体及び個人で, 本会の趣旨に賛同する者をいう。
3. 購読会員: 本会の趣旨に賛同し, 学会発行の定期刊行物の送付を目的とする者をいう。

3) 2004年度事業計画 (10周年記念事業を含む)

1. 第10回記念大会・10周年記念パーティの開催
日時: 3月26日, 27日 場所: 東京女子体育大学
2. 10周年記念書籍の発刊
2. 研究集会の開催 7月3日 (土) 専修大学
3. 機関誌 (バレーボール研究: Journal of Volleyball Sciences: JVS) 第6巻 (10周年記念誌) の発行と第7巻の発行準備
4. 学会会報 (ニュースレター) 11号の発行
5. バレーボール関係研究文献データベースの整備と運用
6. 会員名簿の発行 (但し, 次年度より, 隔年発行)

7. 研究調査補助

8. 諸会議の開催

9. ワーキンググループを含む, その他諸事業の実施

4) 2004年度調査研究補助費について

1. 申請はあったが選考委員会で採択されず, 会員公募の該当研究なし。
2. 文献調査プロジェクトは引き続き実施

5) 2004年度収支予算

1. 収入の部

(円)

項目	金額	摘要
会費	1500,000	@5,000×300名分 (概数)
大会参加費	260,000	研究集会: @2,000×10名 (一般参加者概数) @1,000×20名 (会員参加者概数) 研究大会: @5,000×20名 (一般参加者概数) @4,000×30名 (会員参加者概数)
広告費	200,000	機関誌広告料・大会プログラム広告料
繰越金	1,400,000	2003年度より繰り越し
雑収入	1,000	預金利息等
合計	3,370,000	

2. 支出の部

(円)

項目	金額	摘要
会議費	50,000	諸会議
事務費	50,000	会費銀行振替関連経費, 振込手数料, 事務用品等
通信費	200,000	郵送費等
大会費	500,000	研究大会, 研究集会等の 開催経費 (研究大会 350,000円・ 研究集会 150,000円)
印刷費	100,000	ニュースレター・学会封筒・資料等の印刷
機関誌発行費	550,000	「バレーボール研究6巻1号」発行
委員会経費	150,000	総務, 編集, 企画委員会, 各5万円
調査研究費	200,000	調査研究補助費・プロジェクト研究費
Web運営費	50,000	
予備費	100,000	
次年度繰越金	1,420,000	
合計	3,370,000	

2004年度第1回主要役員会報告

1) 2004-2005年度委員会構成について

(◎委員長, ○副委員長)

総務: ◎後藤浩史, ○田中博史, ○斎藤春枝, 島津大宣,
藤島みち, 広 紀江, 渡邊理津子, 黒後 洋

編集: ◎柏森康雄, ○森田昭子, ○河合 学, 古沢久雄,
都澤凡夫, 高橋宏文, 相部保美, 浅井正仁, 小川
宏, 水澤克子, 横沢民男

企画: ◎明石正和, ○黒川貞生, ○篠村朋樹, 山本章雄,
橋本吉登, 中西康己, 石手 靖, 梅北精幸, 小林宣
彦, 松井泰二, 山田雄太

渉外: ◎亀ヶ谷純一, ○鈴木陽一, 成田明彦, 吉田清司,
田中幹保, 吉田美和子, 緒方 良, 橋爪 裕, 枅堀
仁美

事務局だより

2004年3月27, 28日, 第9回総会, 研究大会が, 明治学院大学において開催されました。亀ヶ谷実行委員長, 黒川実行委員会事務局長をはじめとした, 実行委員会の尽力で, 初めて, 2日間にわたる研究大会の実施となり, 大変, 内容の濃いものとなりました。

今回の研究大会では, 「コーチに要求される資質を再考する」をテーマに, シンポジウムが開催されました。スポーツの現場における, 「指導・普及・強化」において, 指導者の資質・能力が重要であるのはいうまでもなく, 日本バレーボール協会においても, 平成16年度から, チーム

スタッフに指導者資格を求めるなどの方策がとられています。

バレーボール界における指導者育成システムは, まだまだ暗中模索の感があり, 形式的なものにとらわれることなく, どうすることが日本のバレーボールの裾野を広げ, 強化に結びつくのかを, まだまだ議論していかなければならないと強く感じた次第です。

大会のシンポジウムでも指摘されたように, 現在のバレーボール界においては, 横のつながり, 指導者間の情報交換の量・質・機会, とともに多くの指導者の, 悩みの種であります。従来からの目標である, バレーボール学会が, 多くの指導者にとっての情報発信, 情報交換の場となるよう, 指導者, 研究者の垣根を越えたネットワーク作りを担わなければならないことを, あらためて痛感しました。

「人」が集まることは, それ自体がパワーですので, バレーボール学会としても, より多くの指導者・研究者に集まっていただくよう, 努力していかなければなりません。

従来, 可能な限り低予算で, その予算の中でできることを実行してまいりましたが, 上記のように, より魅力のある研究集会・研究大会を実行していく上で, 予算の枠が, 大きな壁として立ちふさがりようになってまいりました。

第9回総会におきまして, 2004年度から, 年会費を5,000円とすることが了承されましたが, バレーボール学会を通じた会員皆様の活動をより充実させていくために, やむを得ない状況にあることを, ご理解いただきたく存じます。

なお, 昨年度は, 数年にわたる未納によって, やむなく, 退会に至った会員が多数生じました。

また, 今年度から, 会員全員の選挙による理事制度に移行しました。それに伴い, 各委員会においては, 理事以外の会員の方のご協力をいただきながら進めていくこととしました。

学会活動は会員の皆様から選ばれた理事だけで成り立つものではなく, 多くの会員の積極的な参加, 意見交換によって成り立つと考えています。

より多くの「バレー人」のパワーが結集できるよう頑張っていく所存です。今年度は, 学会設立10周年となりますので, 記念行事も含めて, より積極的に展開していきたいと考えています。

学会の活動に対する, 今まで以上のご支援, 叱咤激励を伏してお願い申し上げる次第です。

(H.G.)

